

# くみやま 農業委員会だより

第53号

令和2年2月



農業委員会の  
ホームページ

## 「きゅうり」の淀苗を 出荷します

### 600年の伝統ある淀苗

木津川の流路であった北川  
顔・藤和田地区では、夏野菜  
を中心に野菜の苗づくりが行  
われています。根付き、実付  
きの良さが評判で、全国各地  
に出荷されています。

## 農業者年金加入者に 聞きました!!

保険料の国庫補助があると聞き、老後  
のために加入しました。補助を受けるた  
めに家族経営協定を締結したのですが、  
これが今後の農業経営についての話し  
のきっかけとなり、農業のやり甲斐をよ  
り強く感じるようになりました。

〔藤和田〕 山口 智己 (25歳)

(担当：中西 義晴)

## 農業者年金は節税効果バツグンです

積立方式の終身年金。保険料は2万円から6万7千  
円の間で千円単位で選択。全額社会保険料控除でき  
るから、節税しながら老後に備えられます。

加入要件は3つだけ

1. 年間60日以上農業従事
2. 国民年金第1号被保険者（付加年金加入者）
3. 20歳以上60歳未満の方

お申し込みは、久御山町農業委員会事務局へ



# It's My Life

イツ マイ ライフ

# 農



研修生と一緒に九条ねぎの仕分け作業を行う小嶋さん（左）

【相島】小嶋 直樹 さん（48歳）

九条ねぎ、小松菜、水稻を中心に2.5haを耕作する就農26年目の中堅農家、小嶋直樹さん。インドネシアから来た研修生と九条ねぎの仕分け作業をされているところに伺いました。

## 農業への一歩

代々続く農家の長男として生まれ、府立農業大学校（綾部市）卒業後、公益社団法人国際農業者交流協会の推薦により、米国ワシントン州の大学やカリフォルニア州の大規模農園で2年間農業技術を学びました。

米国で研修生として携わった大規模農園では、生産から販売まで現場監督を任せられ、農業経営の実戦経験を積むことができました。

## 励みになっています

米国で様々な経験を積ませてもらったので、何か恩返しができないかと考え、5年前から研修生を毎年自宅に受け入れています。日本の農業技術を学ぼうと一生懸命な研修生の姿を見るたびに、米国で頑張っていた頃の自分と重ね合わせ、自分自身も新たな農業技術の習得や試みを行う際の励みになっています。

## 次へのステップ

近年は、天候不順や自然災害などが多く、野菜を安定的に生産することが難しくなっているため、地元農家とグループを作り、日々情報交換や研究をしています。

昨年は、このグループで手掛けていたホワイトコーンをオリジナルブランド「パールコーン」として販売し、一般的なメロンより糖度が高く生で食べられるフルーツのようなトウモロコシだと、ご好評をいただくことができました。今後はこのような久御山オリジナルの「ブランド農産物」が作れないかチャレンジしていきたいと思っています。

（担当：林 吉一）



<農業委員会への申請>

毎月20日締切 ※土日祝日の場合は、その前日

<農業委員会への届出>

随時

<農業委員会の総会>

毎月5日開催 ※土日祝日の場合は、その翌日

# あなたも農業委員、農地利用最適化推進委員になりませんか！

## 熱意と行動力のある農業委員、農地利用最適化推進委員を求めています。

現在の農業委員、農地利用最適化推進委員の任期が令和2年7月19日で満了します。

新農業委員の任命については、地域農業者や農業団体等からの推薦のほか、広く公募も行い、町長が議会の同意を得て任命します。

なお、農業委員の過半数は原則認定農業者\*で占められる必要があります。また、農業者以外の中立的な立場の者を1人以上入れる必要があります。

新農地利用最適化推進委員の委嘱については、農業委員と同様に地域の農業者や農業団体等からの推薦のほか、広く公募も行い、農業委員会が委嘱します。なお、両委員の推薦・公募については、3月頃を予定しています。

\*認定農業者 自らの創意工夫により、経営の改善を進めようとする計画を作成し、町に認定された農業者



### 主な職務内容

#### 農業委員（定数:14名）

- ・毎月開催される農業委員会総会等に出席し、許認可等に関する審議を行う
- ・農地利用最適化の推進に係る現場活動（担い手農家への農地の集積・集約化、荒廃農地の発生防止・解消等）

#### 農地利用最適化推進委員（定数：6名）

- ・毎月開催される農業委員会総会等に出席し、許認可等に関する審議にあたって農地利用最適化の推進の観点から意見を述べる
- ・農地利用最適化の推進に係る現場活動（担い手農家への農地の集積・集約化、荒廃農地の発生防止・解消等）

#### 任期

- ・農業委員・農地利用最適化推進委員 令和2年7月20日～令和5年7月19日

## 町長へ意見書・要請書の提出を行いました!!



令和元年11月13日、田中会長から町長に対して「久御山町農業委員会次期農業委員の任命等に関する意見書」を提出し、以下の3点について意見を述べました。

1. 農業委員の推薦・募集について  
認定農業者などの担い手農家が過半数となるような任命
2. 農業委員の候補者選考について  
定数超の応募があった際の選考委員会などの設置
3. 農業委員会事務局体制の整備・強化について

また、併せて きょうと女性委員・推進委員の会が作成した要請書「農業委員会への女性の登用促進について」を上田委員から町長に手渡し、女性委員の複数登用を要請しました。

## 賃借料情報（令和元年分）

	賃借料(10アール/年) 金額単位:円			賃借件数		
	最高額	最低額	平均額	賃貸借	使用貸借	総件数
田	47,492	3,647	20,359	63筆	9筆	72筆
畑	51,441	6,942	27,893	56筆	18筆	74筆

※集計から使用貸借（賃借料0円：27筆）は除外しています。

※賃借料を玄米で物納した場合は、11,850円（玄米30kg当り）として換算しています。

畷	肆
聖	干
肆	王

【答え】

## ほっと一息

### だき 淀大根焚



ひがしいもあらい

東一口地区では12月から京のブランド産品である淀大根の出荷が行われます。昭和28年の大水害の後、台風の前に収穫できる早場米の後作として始まった淀大根は、早く煮えて煮くずれしにくいと大好評。

今年も「旧山田家住宅」で地元の人、子供さんにも本場の淀大根を味わってもらおうと、生産農家の協力で大根焚が行われました。寒い冬に、煮込んだ大根は格別おいしいと声が飛び交いました。（内田 裕夫）

# 地元の野菜を使って



アスパラの豚肉巻きフライ

## 材料

- グリーンアスパラ..... 3本
- 豚ロース薄切り肉..... 3枚
- 卵..... 1個
- 塩・こしょう..... 少々
- 小麦粉、パン粉、揚げ油..... 適量
- とんかつソース..... 大さじ3

## 作り方

- ① アスパラは根元から1cmほど切り落す。
- ② 豚ロースに小麦粉をふってアスパラを巻く。
- ③ ②に塩こしょうをふりかける。
- ④ ③に小麦粉を薄くまぶし、とき卵にくぐらせる。
- ⑤ パン粉をつけ、全体を手で軽くにぎって衣を落ち着かせる。
- ⑥ 揚げ油を中温（170～180℃）に熱し、⑤を入れてキツネ色になるまで揚げ、油をきる。
- ⑦ ななめに半分に切って器に盛り、とんかつソースをそえる。  
(担当：田口 洋輔)



## 頭の体操

### ～3文字熟語パズル～

3文字熟語が3つできるように  
クロスワードを完成させましょう。

答えは別のページ

		農
	土	
箱		



## 口約束での貸し借りはトラブルのもとです!!

口約束での貸し借りでは契約内容がはっきりせず、後日トラブルになる場合がありますので、必ず「利用権設定」の手続きを行ってください。

利用権設定の手続きをとれば町が仲介をするので、安心して貸し借りする事ができます。また、貸し借りの期間は自動更新しないので、農地がかえってこないといった心配はありませんし、双方が合意すれば途中解約も可能です。

### 〈利用権設定の手続〉

対象：市街化調整区域内の農地の貸し借り

申請締切等：毎月20日締切、翌月5日の農業委員会総会で審議

貸借の始期：総会の翌月以降の月初

貸借の終期：4月末又は10月末

貸借の期間：1年以上の期間で自由に設定。ただし賃貸借については50年以内

## 農地あるある相談室



**Q** 田に土を入れて畑にしようと思いますが、何か手続きがあるのでしょうか。

**A** 農業委員会へ農地形状変更（盛土、切土等）の事前協議が必要です。

土砂の搬入に伴い周辺農地等への悪影響が生じないように工事着工前に農業委員会へ事前協議を行ってください。

事前協議の結果、問題ないと認められる場合は「承認書」を発行しますので、工事現場に掲示してください。

優良農地の保全と周囲とのトラブルを未然に防止するため、ご理解ご協力をお願いします。



久御山町農業委員会  
農政情報部会

委員長 林 吉一  
副委員長 曾束 竹司  
委員 田内 中 西 義晴  
上田 幸 子  
田口 裕 夫  
洋輔

## 発行・編集

農政情報部会

上田 幸子

だよりを通じて、少しでも農業委員会の活動に興味を持っていただければ幸いです。

## 編集後記

農業委員会だよりは、毎回部会メンバーと協力しながら作り上げています。今号では、町長へ要請書を提出した場面を掲載いたしました。慣れない雰囲気大変緊張したことを覚えています。紙面の関係上伝えきれなかった情報もあり、まだまだ改善の余地はあると思いますので、今後とも分かりやすい紙面作りに努めて参ります。この農業委員会だよりを通じて、少しでも農業委員会の活動に興味を持っていただければ幸いです。